

OZONE 60

2021年3月、60歳の節目を迎えたジャズ・ピアニストの小曾根 真。
クラシック×ジャズの2つの顔でお贈りする特別公演に、どうぞご期待ください！

Message

生まれて間もなく父親の演奏するディキシーランド・ジャズに魅了され、敢えてピアノではなく Hammond オルガンでジャズを始めた幼少時代。12歳でオスカー・ピーターソンのピアノにノックアウトされて嫌いだったピアノを始め、40歳を過ぎた頃にモーツァルトの音楽に魅了されて嫌いだったクラシック音楽に挑戦。妻の芝居に感動して演劇や映画の世界にも足を踏み入れ、今日の小曾根真の音楽が創られました。

僕の恩師の皆さんへはもちろん、今日までずっと僕と僕の音楽を支えてくださった全ての皆さんへの感謝の想いを一音一音に込めてレコーディングを終えました。そして、新しい作品とともに、これからも絶えず創り続けていくエネルギーを、会場の皆さんとともに感じ、長い音楽人生を歩んでいきたいと思えます。

心からの感謝とともに

小曾根 真



©Kazuyoshi Shimomura

小曾根真 (ピアノ) Makoto Ozone (Piano)

1983年パーカー音楽大学ジャズ作・編曲科を首席で卒業。同年米CBSと日本人初のレコード専属契約を結び、アルバム「OZONE」で全世界デビュー。2003年グラミー賞ノミネート。

チック・コリア、ゲイリー・パートン、ブランフォード・マルサリス、パキート・デリベラなど世界的なプレイヤーとの共演や、自身が率いるトリオやビッグ・バンドの活動など、ジャズの最前線で活躍を続けている。また、クラシックにも本格的に取り組み、NYフィル、サンフランシスコ響、シカゴ交響楽団など、国内外のオーケストラと、モーツァルト、ラフマニノフ、プロコフィエフなどの協奏曲の演奏でも高い評価を得ている。さらに、映画音楽など、作曲にも意欲的に取り組み、多彩な才能でジャンルを超え、幅広く活躍を続けている。

2019年、小曾根真 featuring No Name Horses 15周年記念アルバム、「Until We Vanish」をリリース。2020年はコロナ禍の緊急事態宣言中、53日間に及ぶ自宅からのライブ配信活動「Welcome to Our Livingroom」に多くの視聴者を集め話題となった。2021年3月には還暦を迎え、全国都道府県にて「OZONE60」と題してリサイタルを中心にプロジェクトを展開する。平成30年度紫綬褒章受章。

オフィシャル・サイト <http://makotoozone.com/>



Anniversary Solo Album 『OZONE 60』

¥4,400(税込) UCCJ-2190/1
CLASSICサイドとJAZZサイドの2枚組

●収録予定曲
クラシック:モーツァルト、ラヴェル、プロコフィエフ
から即興まで
ジャズ:Gotta Be Happy, Always Together,
The Puzzle ほか

新型コロナウイルス感染症拡大防止の取り組み

ご来場の皆様・出演者・スタッフの安全と安心の確保に努めてまいります。会場内では座席間隔をあけてお座りいただきソーシャルディスタンスの確保をお願いいたします。また、マスクの着用・手指の消毒・検温等、施設の感染対策にご協力いただきますようお願いいたします。

つつろの友の会

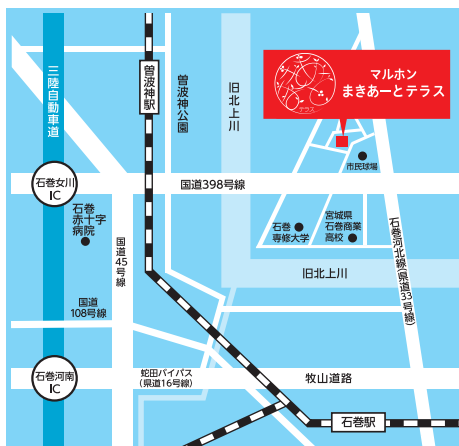
メールマガジン会員募集

マルホンまきあーとテラスの公演情報をお届けします。

<https://makiart.jp>



↑こちらから登録できます



■アクセス案内



電車

JR仙台駅からJR石巻駅
JR仙石東北ラインで約60分
JR仙石線で約85分



車

石巻駅から車で10分
三陸自動車道 石巻女川ICから車で5分

【問い合わせ先】

マルホンまきあーとテラス
TEL. 0225-98-5630